参考資料

進捗管理の全体構造（縦のつながり）

【市民のしあわせ】高知市未来ビジョン
いま、そして次世代へ しあわせを紡ぐまち 高知市

- ビジョン達成に向けた「柱」ごとの成果指標として、「暮らしの実感項目」を新設
- 市民意識調査に「暮らしの実感項目」に係る調査項目を新設し、毎年度把握
- 令和9年度市民意識調査結果を基準値とし、計画期間中の上昇幅を指標に設定

新設・接続点

暮らしの実感項目（主観）
6つの柱×各2～4項目＝約15～20項目
（例: 避難・物資、住まいの安全）

施策補完指標（客観）
実感で測れない領域を個別行政計画の既存目標値で補完（新規作成なし）

既存計画活用

↑
各事業について「貢献する実感項目」を紐づけ

実施計画 評価対象事業 KPI
3段階目標を設定（ボトム/ターゲット/ゴール）

評価対象外事業（維持管理・法定等）
目標値は設定しないが、モニタリング数値を1つ以上設定

↑

全事務事業（約2,000）
すべて施策へ分類紐づけ（予算・決算の集計単位として機能）